花のチカラ 緑のココロ

2013年 新春号

新年あけましておめでとうございます

園芸福祉士養成講座は『園芸福祉のすすめ』２００２年、『園芸福祉入門』２００７年などのテキストを基に、園芸福祉活動が如何に在るべきかをみんなで学び、その活動は今やコミュニティ再生のエンジンとして地域社会から大きな期待が寄せられるようになりました。

初級園芸福祉士は日本全国のすべての都道府県に誕生し、活動の趣旨は韓国や台湾などアジア諸国人々の理解を得、地域間の国際交流も盛んになりました。

園芸福祉活動の普及には人材育成が第一と考え、これまでの十余年で講座開催はのべ２３０回、４，６００時間を超え、講座の参加者は６，０００人余になりました。この普及への理解と実践に参加していただいた皆様に心から感謝いたします。

今年は、もう一度園芸福祉活動の基本に立ちかえり、みんなで植物の恩恵に感謝し、活動のさらなる可能性を見出したいと思います。皆様と一緒に、多面的にネットワークを広げながら園芸福祉活動の普及をしていきますので、今年もよろしくお願いいたします。

理事長　吉長 成恭
（よしなが　はるゆき）

～祝～おめでとうございます～祝～おめでとうございます～祝～おめでとうございます～祝～おめでとうございます～

高松農業高等学校　淺野仁美さんが、芝人形づくりなどの園芸福祉活動で毎日農業賞高校部門優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。

古賀市緑のまちづくりの会（園芸福祉ふくおかネット）が、福岡県より「ふくおか共助社会づくり賞」の地域貢献活動部門賞を受賞されました。おめでとうございます。

園芸福祉ふくおかネットの角銅久美子さんが、内閣府より園芸福祉やまちづくりなど長年の活動から「エイジレス章」（賞ではありません）を受賞されました。おめでとうございます。

※協会事務局に連絡いただいた中から、ご紹介させていただきました。

２０１３年 協会行事カレンダー

１月	仕事始め（７日）
２月	初級園芸福祉士認定試験（１６日）
３月	資格更新手続き･年間活動報告案内発送（下旬） 年度末（31 日）
４月	初級園芸福祉士認定試験合格発表（30 日） 資格更新手続き締切（31 日）
５月	年間活動報告提出（31 日） 初級園芸福祉士資格登録手続き締切（31 日）
６月	総会･シンポジウム（21 日　於:新潟県長岡市） 平成 24 年度事業報告書を東京都へ提出（下旬）
９月	園芸福祉士認定審査（中旬）
10 月	園芸福祉士認定者発表（中旬）
12 月	仕事納め（27日）

新春におすすめの二冊

「福祉のための農園芸活動　無理せずできる実践マニュアル」

豊原憲子・石神洋一・宮上佳江著　農文協　ISBN978-4-540-06209-4　2,600 円（税込）

農業を福祉の場面で効果的に活用していくためには多くの知識と経験が必要になります。この本では、園芸福祉活動の経験が少ない方であっても、農を通した活動を一から楽しく無理なく始められるように、基礎的な栽培技術や具体的なプログラムの進め方が様々なバリエーションで紹介されています。

「農家と市民でつくる新しい市民農園」

廻谷義治著　農文協　ISBN978-4-540-07297-0　1,700 円（税込）

市民農園開設手法の一つに農家による開設があります。他の方式に比べて手続き等が簡易で、農家の特色をいかした農園が各地にあります。しかし、知識の不足などから、農地法の違法行為や脱税、不法契約などもの危険を持っています。この本は、４０年に渡り農家と一緒に市民農園を利用・管理している著者のノウハウが満載です。

昨年資格登録された認定校のみなさんの自己紹介コーナー！！

※認定校とは、学校のカリキュラムに園芸福祉を取り入れている教育機関です。

相可高校に通う高校生です。昔から花や植物によるセラピーに興味があったのでこの資格を取れ嬉しく思います。初級園芸福祉士の資格を取ったからには、実際にプログラムを立て実行したいと思います。今は受験生という事で実現は難しいかもしれませんが、就職をしてからでも仕事にこの資格を活かして「みんなが幸せになる」というテーマに沿い活動していきたいと思っています。
（三重県　女性）

私は今、ＮＰＯ法人植える美ｉｎｇで理事をしています。
その活動の中で花を育てて街を明るく地域活性化をするために寄せ植えをして、その花を地域の歯医者さんや美容院においてもらったり、地域の小学生と一緒に花を植えるなど様々な交流を行っています。この活動を活かして、また、この初級園芸福祉士の資格を活かして、これからも地域活性化、地域貢献につながる活動をしていきたいです。
（三重県　女性）

岡山県立高松農業高等学校、園芸科学科に通っています。この学校に入って初めて、園芸セラピーという言葉を聞きました。園芸科学科のマスコットキャラクターである育てると頭から芝が生えてくる芝人形。いろいろな学校の行事にお客さんに教えながら一緒に作ります。最初はどう話せば上手く伝わるか、とても苦労しましたが、段々とお客さんと話す会話が増え、一緒に笑ってもらえたりします。今では園芸セラピー専攻生として、芝人形以外にハーブの栽培、お年寄りや障害者との園芸交流、また６月には、埼玉県へ避難者支援に行きます。（岡山県　女性）

私は、セラピーの活動で埼玉県へ被災者（避難者）支援へ行ったり、授業で障がいをもった中学生と交流したりしています。たくさんのコミュニケーションを経験してきて、人と関わることが自分の長所に変っていきました。園芸福祉を通じて、たくさんの人と交流して自分の長所をもっともっと伸ばしていけたら良いなと思います。（岡山県　男性）

私は、旭川農業高校の生活科学科に入学し、コミュニケーション能力や花について学んでいます。実際に老人ホームに行きお年寄りの人と交流をし、コミュニケーション能力を身につけたりしています。授業の中で園芸福祉の勉強をする機会があり、今回、園芸福祉士の資格を取りました。資格を取るために覚えることもたくさんあり大変でした。今後の生活の中で、この園芸福祉士の資格を生かせる時があればしかっりと生かして行きたいと思っています。（北海道　女性）

私は、二年間、園芸福祉班という専攻班に所属し、高齢者や障害者の方と交流を通してコミュニケーション能力の向上や人との接し方など学ぶことが出来ました。また、実習で草花と触れ合う事により、花を育てる事がとても好きになり、交流会などで育てた花を使って沢山交流を深める事が出来たので良い経験となりました。（北海道　男性）

私は、名久井農業高校に通っています。
主に、花の勉強をしていて、近くの保育園の子ども達と寄せ植えなどをして活動を行っています。（青森県　女性）

私は、学校の授業で園芸福祉士という資格がある事を知りました。過去の様々なボランティアの計画を読んで、とても興味を持ちました。
資格試験に無事に合格する事ができたので、これからは初級園芸福祉士の一員として、普段あまりかかわる事のない年代の方や地域の方たちと触れ合う事ができたり、活動によって新たな人との絆を作る事ができる素敵な活動を広めていきたいです。（新潟県　女性）

私は現在、福祉大学に通う大学生です。保育士になるために日々頑張っています。保育士として園芸福祉を子ども達と行っていきたいと思っています。（静岡県　男性）

私は、農業高校に通う高校３年生です。昨年度は様々な園芸福祉活動を行ってきました。一番印象に残っているのは、保育園児との花壇造りです。初めての活動でもあったので大変だったけどいい経験になりました。私は、大学も農業系へ進学しようと考えています。そこでも引き続いて地域に密着して色々な活動をしていきたいと思います。
（愛知県　男性）

短大を卒業後、就職した施設や病院で、利用者や患者の気分転換や残存機能を維持していけるように、園芸活動を行っていけたら良いなと思っています。多くの人に園芸をする楽しみを感じてもらえるように活動していこうと思います。（兵庫県　女性）

園芸福祉士認定者紹介

園芸福祉士に認定された方々をご紹介いたします。今後のますますのご活躍を期待しています。

宮城県
安達　紀子様

福島県
鈴木　カネ様

栃木県
黒澤　真紀子様

群馬県
山岸　恵美子様

愛知県
相原　明美様　近藤　敦子様
坂根　徳子様　本多　悦子様
守屋　保美様　伊藤　総俊様

埼玉県
櫻井　幹三様
吉留　ひろ子様

東京都
岡　直子様
大和　英子様
佐々田　節子様
依田　昭子様
加藤　淑惠様

神奈川県
坪倉　兌雄様
伊藤　忠夫様
村上　美和子様
坂巻　資敏様

新潟県
今泉　幸枝様
北澤　道子様
西山　勇二様

三重県
辻本　長美様

石川県
石田　裕子様

長野県
清水　厚子様

兵庫県
立川　文代様
金岡　重子様
坂本　哲也様

広島県
八川　美幸
佐々木　帛代様
松田　純子様

静岡県
八谷　礼子様　柳井　秀之様
紺屋　優子様　野中　冨美子様
吉川　ﾏﾘ子様

岐阜県
後藤　真奈美様

岡山県
住吉　雅子様
横見瀬　文子様

徳島県
木藤　繁樹様

島根県
宮本　昭枝様

山梨県
齊藤　三恵様

福井県
辻　和美様

福島からの報告。～今年の福島の活動はひと味違います～

平成２４年度、独立行政法人福祉医療機構の助成を受けて行ってきた『親子の野菜づくり教室』は、１１月５日の教室と収穫祭で一段落し、あとは、片付けととりまとめを残すだけです。小学校就学前や低学年のお子さんを持つ１０組の家族を対象に、５月から半年間４回の野菜づくり教室、３回の園芸福祉クラフト活動を行いました。参加された親子からは、「すごく楽しかった」「来年も家でミニトマトを育てたい」などの感想をいただきました。協会がこの事業に取り組んだのは、被災者の直接的な支援もさることながら、「うつくしま園芸福祉の会」の再結束もありました。未曾有の大災害で一度は壊れかけた園芸福祉士の輪を、今回の行ったイベントを通してつなぎ止めたいと思っていました。

会津鶴ヶ城（『八重の桜』のお城）

幸いにも、まだ少人数ですが、地域活動の機運が高まってきました。昨年の暮れに開かれた会合では、今年、被災者復興支援市への参加、市内の園芸福祉花壇の整備と管理、あづま運動公園イベントへの参加などを行い、福島県内の園芸福祉士の活動の場、集まる機会を増やし、皆で協力し合う関係づくりを築く一年にする計画が決まったそうです。福島の受け皿が機能してこそ、全国からの支援が活かされます。今年も福島からの報告を続けますので、ご支援よろしくお願いいたします。（粕谷）

活動プログラムのご紹介

女の子の健やかな成長を祝う行事の雛祭り。園芸福祉の活動で様々なお雛様が楽しまれていますが、今回は、松ぼっくりとまゆ玉を活用したプログラムをご紹介します。

❤まゆ玉のお雛さま❤

材料
松ぼっくり 2 個
まゆ玉 2 個
原毛　各色
折り紙
リボン 10cm（3mm 幅）
フェルト赤 14×10cm
ダンボール 12×8cm
木工用ボンド
墨汁

作り方
1　松ぼっくりの上部に木工用ボンドでまゆ玉をとめる。
2　まゆ玉に墨汁で髪と顔を描き、よく乾かす。
3　松ぼっくりに色とりどりの原毛を巻きつける。
4　折り紙で笏（しゃく）・扇・烏帽子、リボンで髪飾りを作り、ボンドでとめる。
　（写真の烏帽子はマテバシイのはかまと折り紙）
5　飾り台をダンボールとフェルトでつくり、ひな人形をボンドでとめれば出来上がり。

～告～

園芸福祉シンポジウムは6月21日（金）に新潟県長岡市で開催

今年の総会・園芸福祉シンポジウムは、上記の通り開催されます。翌２２日（土）には、長岡市及び近郊の園芸福祉事例や公園などの見学も企画中です。スケジュールや内容は、春の会報でお知らせすることができそうです。

コラム　市民農園万国記
～ワイン一杯の幸せ　ドイツその２～

前号に続きドイツです。１１月２１日から１週間ドイツを回ってきました。この時期のドイツは、陽が短く気温も寒く、夕食後にほろ酔いでホテルまで歩いて帰ると、途中で酔いが覚めもう一軒寄ってしまいます。クラインガルテンも１１月に入ると基本的に閉園となり、防犯のため農園の入り口は施錠され、用事のある利用者のみ入園できるだけとなります。今回の訪独は花・緑抜きですが、バイエルン州ヴルツブルグ市で見た『福祉(しあわせ)』の光景をご紹介します。

この街にあるビルガーシュピタールは、１３１６年に資産家の寄付により設立された高齢者施設です。寄付の中にはブドウ畑も含まれており、そのブドウから作ったワインも施設運営の一翼を担っています。また、現在施設に入所している数百人の高齢者にも、一日 0.25 ﾘｯﾄﾙのワインが配給されているそうです。入所者は一階のワインレストランで飲むことも認められています。私が夕食を食べに訪れた際も、老婦人が雑誌を読みながらワインを楽しまれていました。彼女の関心は、雑誌よりも客の観察のようです。『あら今日は東洋人がいるわ。何処の国かしら。またお代わりしている。よく飲むわね。』声が聞こえてきそうです。私が食事を済ませ帰るとき、彼女のグラスにはまだ半分のワインが残っており、私に向かって「良いご旅行を」と挨拶してくれました。隔離するのでなく社会と自然に接する場所と仕掛け、園芸福祉における花・緑の役割を、ここでは一杯のワインが果たしていました。（粕谷）

辛口フランケン白ワイン、絶品です。

求む！各地・各人の活動情報

地域組織や個人の園芸福祉活動の情報を事務局宛にお送り下さい。また、下記ホームページのアドレスにご連絡ください。会報などは PDF ファイルを添付してメールしていただければ皆様に広報させていただきます。

HP アドレス：http://www.engeifukusi.com/
mail アドレス：kyoukai@engeifukusi.com

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、ＮＰＯ法人です。ＮＰＯ法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内 70%以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

おすすめの一冊

ただ今、会報で紹介させていただくお勧めの本を募集しています。みなさんのおすすめの一冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしています！！

編集後記

睦月。親しい家族はもちろん、普段疎遠になりがちな親戚とも往来して「睦まじく」する月。みなさんは、どんなお正月をお過ごしでしたか？

癸巳(みずのとみ)にあたる 2013 年。

蛇は昔から「神様の遣い」と言われていたり、金運・財運を招く神として奉られており、縁起の良い十二支。また、巳年は植物に種子ができはじめる時期だともいわれています。

今年も家族みんなが幸せに暮らせるように、花や野菜を育てて福を招きましょう。（今井）

NPO 法人日本園芸福祉普及協会発行
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58
Tel:03-3266-0666　Fax:03-3266-0667